

プロジェクト報告書

団体名 npo 高齢者の音楽を考える会

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願いします)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

出張 音楽療法「高齢者の音楽を考える会」

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

音楽療法というと高齢者施設での音楽の時間を考えがちだが、高齢者施設へ行っていないお年寄りもいらしゃいます。また楽器の準備の無い所もあります。そういう高齢者の方達の為に、楽器を持って出かけ KOKO メソッド(音楽療法)での「音楽の会」を開催する。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

高齢者が多く居住する集合住宅やグループホームにキーボード楽器を持参し音楽の会「歌って元気、心とからだ」を開催。

Koko の会認定の高齢者音楽アドバイザーが出向き、約1時間の指導をする。

KOKO の会で出版した著書「歌って元気、心とからだ」のプログラムの実践。

音楽を聴くだけでなく、自分たちが歌ったり、体操をしたり、合奏をする)参加型「音楽療法」をおこなう。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

実施にあたり広報活動はチラシを作り新聞折り込み、ポスティング等で多くの方の参加を得ることができた。

単発イベントではなく、継続性のあるものとするため、参加費を徴収した。その結果毎月の開催が可能となり、事業終了後も続けることができるようになった

歌集も自前のものを使い著作権の問題が起きないようにした。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

このプロジェクトは、楽器(ピアノ)の設備がない所での、音楽療法の実施が大きな目的の1つです。

この購入したキーボードで高齢者の方々に、楽しい時間を過ごしてもらうことができ、本当にたすかりました。大規模集合住宅での住人同士のコミュニケーションの拡大に大きな力を持った。と考えます。

高齢者の孤立化、孤独化防止に大いに役立っていると感じた

URプロムナード荻窪では引き続きこのプログラムを継続してほしいとの要望があり、このプロジェクト終了後も講師の好意により続けて「音楽療法と歌の会」として継続の運びとなった。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください

◎考資料あり・特になし



荻窪プロムナード

歌って元気！

ちょっぴり体を使ったり、
ちょっぴりヴォイストレーニング
たっぷり懐かしい歌を元気に歌いましょう！

歌うことで 心が活性化され、呼吸器の強化にもつながります。
歌って、心も体も元気になりましょう！

9月6日(金)10時半

日時 毎月第一金曜
10時半～11時半
会場 管理 B集会室

参加費 500円

主催 高齢者の音楽を考える会(Kokoの会)
申し込み Kokoの会事務局
TEL 0422-49-4413
mail npoKoKo@gmail.com